

～「食品廃棄物のリサイクルについて」～

生活協同組合ひろしま 管理部 総務グループ 担当主任 上本 真稔

1 組合概要

生協ひろしまは、17配送センター、9店舗（広島市内7店舗）、移動店舗4台、13福祉事業所（今年2月に観音地区にグループホーム開設）、物流センター（広島・福山）、共済事業、夕食宅配事業、子会社としてチケットやトラベル、葬祭などのサービス、コープハウジング、北広島町で野菜を栽培し販売するハートランドなど各種事業を行っているが、組合員の共同注文で1週間後に食材等を家庭に宅配するといった無店舗事業が柱となっており、この事業では基本的に食品廃棄物は発生しない。一方で、主に、食品廃棄物が発生するのは、店舗からであるため、本日はその対応状況について紹介する。

2 生ごみリサイクルの取組

店舗から排出される野菜くずや魚のあら等の食品廃棄物は業者にリサイクルしてもらっており、堆肥化・飼料化している。食品リサイクル法による食品廃棄物のリサイクル率は73.8%である。他生協では、リサイクルセンターを設けてリサイクル率100%にしているところもあるので、こうした取組を参考にしながら、100%を目指して努力していきたいと考えている。

なお、店頭回収は、1990年代から牛乳パックや卵パックなどを実施している。廃油は、配送トラック4台のBDF燃料として活用していたが、精製会社が無くなって現在はやめている。

3 フードバンク活動

2009年2月から「特定非営利活動法人あいあいねっと」に、パッケージが傷ついたり、販売期限が過ぎた調味料やレトルト食品、缶詰等を提供している。

ピークは2012年で年間1トン以上を提供していたが、近年は他社からのフードバンクの受入れが多くなったこともあり、5店舗から3店舗に減らして、今年は344kgを提供する予定である。

フードバンクに食品を提供しようとするときは、衛生面や万一の事故などのリスクが障害になると思うが、生協ひろしまとしては、非常に良い取組と考え、提案いただいて4か月で決定した。

他生協では、フードバンクの立ち上げや、家庭で余った食品を持ち寄り福祉施設等に寄付するフードドライブの実施、冷蔵品の保管が難しいフードバンクへの大型冷蔵庫の貸出などを行っている。

生協ひろしまは、あいあいねっとのフードバンクが根付いていることから、このような取組は考えていないが、他生協の取組を学びながら少しでも食品廃棄物を出さないようにしていきたいと考えている。

最後に、今後、世界的に人口が増加し、食糧が不足することが懸念されている中で、組合員と一緒に、持続可能な社会の実現に向けて、環境の取組を継続していきたいと考えている。